

## 計算書類の注記（あすなろ会）

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 貯蔵品の評価方法

最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金・・・職員に対して将来支給する退職金のうち、法人の負担する福井県民間社会福祉施設職員退職共済制度における掛金相当額を退職給付引当金に計上する。
- ・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引手金として計上する。

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

- ・福井県社会福祉協議会の福井県民間社会福祉施設職員退職共済
- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員退職手当共済

### 5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)  
当法人では、社会福祉事業のみのため作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)  
当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
  - ①法人本部拠点
  - ②みづこしこども園拠点
  - ③めいりんこども園拠点
  - ④みどり葉こども園拠点
  - ⑤特養あたご拠点
    - ・地域密着型特別養護老人ホームあたご
    - ・グループホームあたご
    - ・認知症対応型デイサービスあたご

- ・ショートステイあたご
- ⑥デイサービス拠点
  - ・あたごデイサービス
  - ・あたご居宅介護支援事業所
- ⑦デイサービスふう拠点

## 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	182,472,429	0	0	182,472,429
建物	1,130,611,417	4,142,791	37,875,754	1,096,878,454
合 計	1,313,083,846	4,142,791	37,875,754	1,279,350,883

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し  
該当なし

## 8. 担保に供している資産

・担保に供している資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	76,400,000円
建物（基本財産）	833,709,680円
計	910,109,680円

・担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	404,518,000円
-----------------------	--------------

## 9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
土地（基本財産）	182,472,429	0	182,472,429
建物（基本財産）	1,495,387,482	398,509,028	1,096,878,454
土地	25,820,790	0	25,820,790
建物	23,782,750	11,016,474	12,766,276
構築物	121,341,790	30,694,112	90,647,678
車輛運搬具	17,298,170	15,456,513	1,841,657
器具及び備品	50,177,247	41,362,754	8,814,493
合 計	1,916,280,658	497,038,881	1,419,241,777

## 10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

1 1. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

1 2. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

1 3. 重要な偶発債務  
該当なし

1 4. 重要な後発事象  
該当なし

1 5. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け  
該当なし

1 6. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び  
純資産の状態を明らかにするために必要な事項  
該当なし

## 計算書類の注記（本部）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金・・・職員に対して将来支給する退職金のうち、法人の負担する福井県民間社会福祉施設職員退職共済制度における掛金相当額を退職給付引当金に計上する。
- ・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

- ・福井県社会福祉協議会の福井県民間社会福祉施設職員退職共済
- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員退職手当共済

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 本部拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(10))
- (3) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(11))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

該当なし

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類注記(みづこしこども園)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 貯蔵品の評価方法

最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却方法・・・定額法

#### (3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金・・・職員に対して将来支給する退職金のうち、法人の負担する福井県民間社会福祉施設職員退職共済における掛金相当額を退職給付引当金に計上する。

・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

- ・福井県社会福祉協議会の福井県民間社会福祉施設職員退職共済
- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員退職手当共済

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) みづこしこども園拠点計算書類(第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) みづこしこども園資金収支明細書(会計基準別紙3(10))
- (3) みづこしこども園事業活動明細書(会計基準別紙3(11))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	67,927,819	0	0	67,927,819
建物	148,225,638	0	5,558,002	142,667,636
合 計	216,153,457	0	5,558,002	210,595,455

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
土地（基本財産）	67,927,819	0	67,927,819
建物（基本財産）	317,331,553	174,663,917	142,667,636
土地	25,820,790	0	25,820,790
建物	23,321,750	10,805,874	12,515,876
構築物	14,401,572	5,941,951	8,459,621
車両運搬具	859,640	859,639	1
器具及び備品	12,786,849	11,120,065	1,666,784
合 計	462,449,973	203,391,446	259,058,527

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類注記(めいりんこども園)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 貯蔵品の評価法

最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金・・・職員に対して将来支給する退職金のうち、法人の負担する福井県民間社会福祉施設職員退職共済における掛金相当額を退職給付引当金に計上する。

・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

- ・福井県社会福祉協議会の福井県民間社会福祉施設職員退職共済
- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員退職手当共済

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) めいりんこども園拠点計算書類(第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) めいりんこども園資金収支明細書(会計基準別紙3(10))
- (3) めいりんこども園事業活動明細書(会計基準別紙3(11))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	25,249,156	0	0	25,249,156
建物	194,393,034	4,142,791	5,695,448	192,840,377
合 計	219,642,190	4,142,791	5,695,448	218,089,533

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし



## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	173,548,596円
計	173,548,596円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	22,540,000円
-----------------------	-------------

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
土地（基本財産）	25,249,156	0	25,249,156
建物（基本財産）	259,332,703	66,492,326	192,840,377
建物	461,000	210,600	250,400
構築物	19,424,117	6,825,203	12,598,914
車輛運搬具	2,391,900	2,391,899	1
器具及び備品	5,494,150	4,425,976	1,068,174
合 計	312,353,026	80,346,004	232,007,022

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 重要な後発事象

該当なし

## 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類注記(みどり葉こども園)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 貯蔵品の評価方法

最終仕入原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金・・・職員に対して将来支給する退職金のうち、法人の負担する福井県民間社会福祉施設職員退職共済における掛金相当額を退職給付引当金に計上する。

・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

- ・福井県社会福祉協議会の福井県民間社会福祉施設職員退職共済
- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員退職手当共済

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) みどり葉こども園拠点計算書類(第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) みどり葉こども園資金収支明細書(会計基準別紙3(10))
- (3) みどり葉こども園事業活動明細書(会計基準別紙3(11))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	0	371,254,940	2,487,445	368,767,495
合 計	0	371,254,940	2,487,445	368,767,495

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	267,558,138円
計	267,558,138円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）

113,600,000円

#### 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	371,254,940	2,487,445	368,767,495
構築物	46,617,774	477,510	46,140,264
器具及び備品	956,920	21,937	934,983
合 計	418,829,634	2,986,892	415,842,742

#### 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

#### 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

#### 11. 重要な後発事象

該当なし

#### 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類の注記（特養あたご）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (2) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

該当なし

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 特養あたご拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(10))
- (3) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(11))
- (4) 各拠点におけるサービス区分の内容
  - ・地域密着型特別養護老人ホームあたご
  - ・グループホームあたご
  - ・認知症対応型デイサービスあたご
  - ・ショートステイあたご

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	55,000,000	0	0	55,000,000
建物	359,439,268	0	19,960,382	339,478,886
合 計	414,439,268	0	19,960,382	394,478,886

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	55,000,000円
建物（基本財産）	339,478,886円
計	394,478,886円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む） 230,928,000円

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
土地（基本財産）	55,000,000	0	55,000,000
建物（基本財産）	467,558,000	128,079,114	339,478,886
構築物	37,661,213	16,186,572	21,474,641
車両運搬費	10,866,630	9,024,977	1,841,653
器具及び備品	22,974,960	19,604,149	3,370,811
合 計	594,060,803	172,894,812	421,165,991

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

該当なし

## 11. 重要な後発事象

該当なし

## 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類の注記（あたごデイ）

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (2) 引当金の計上基準

・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積もり、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

該当なし

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) あたごデイ拠点計算書類(第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(会計基準別紙別紙3 (10))

(3) 拠点区分事業活動明細書(会計基準別紙別紙3 (11))

(4) 拠点区分におけるサービス区分の内容

- ・あたごデイサービス
- ・あたご居宅介護支援事業所

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	34,295,454	0	0	34,295,454
建物	57,298,537	0	4,174,477	53,124,060
合 計	91,593,991	0	4,174,477	87,419,514

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

・担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	21,400,000円
建物（基本財産）	53,124,060円

計 74,524,060円

- ・担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。  
設備資金借入金（1年以内返済予定額含む） 37,450,000円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
土地（基本財産）	34,295,454	0	34,295,454
建物（基本財産）	79,910,286	26,786,226	53,124,060
構築物	3,237,114	1,262,876	1,974,238
車両運搬具	3,180,000	3,179,998	2
器具及び備品	7,527,008	6,103,155	1,423,853
合 計	128,149,862	37,332,255	90,817,607

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類の注記(デイサービスふう)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産・・・定額法

#### (2) 引当金の計上基準

・賞与引当金・・・職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積り、賞与引当金として計上する。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

該当なし

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) デイサービスふう拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

(3) デイサービスふう拠点区分資金収支明細書(別紙3(10))

(2) デイサービスふう拠点区分事業活動明細書(別紙3(11))

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

該当なし

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

該当なし



8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
器具及び備品	437,360	87,472	349,888
合 計	437,360	87,472	349,888

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし